



きたそらち

2025
5月号
No.290

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



4月6日に当JA管内で水稻の播種作業がスタート！！
写真は4月17日に播種作業を開始した藤田涼太郎さん（雨竜地区）です♪
→記事の詳細は10ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/
Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を
発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



facebook



Instagram

JA.HITASORACHI

～ 今月のヘッドライン ～

- 第25回 通常総代会開催 …………… 2～3
- 新役員紹介 …………… 6～7
- 深川産和牛の新たな挑戦
加工品開発が本格始動 …… 10
- 「A-ERW」開発プロジェクト 試験地域報告会 …… 14
- 令和7年度 新採用職員紹介 …………… 19

第25回

通常総代会開催

4月8日、深川支所研修センターにて第25回通常総代会が開催された。総定数281名に対し、本人出席106名、代理出席7名、書面による出席134名の合計247名の総代が出席した。

開会宣言やJA綱領朗唱に続き、岩田清正組合長が開会挨拶を述べた。岩田組合長は昨年の管内の作況や事業について「水稲においては、田植後に一時低温の時期や猛暑の日があったものの、夜温が比較的低く推移したことに加え生産者の水管理の徹底もあり、高温障害は軽微で、一部倒伏が見られたが順調に生育が進み、結果として作況は北空知で「103」のやや良となった。集荷については、うるち・もち、輸出・加工用、規格外を合わせ、75万1千俵を出荷頂いた。特に主食用米は、歩留まりが良く玄米数量は増える傾向にはあったものの、集荷の競合により価格も高騰し、結果として集荷量を大きく増やすことができなかったという

ことで販売額は上昇し、燃料や車両機械などでは、米価高騰の影響もあり取扱高が増えた。国家間の紛争が続くなどで、鉱物資源や、原油の高止まりも続き、あわせて為替の動向もあるため、資材が安定して供給できると注視していかなければならない状況である。金融共済部門においては、預金の金利が徐々に上がっていることで、利用者は金利の高い

銀行などに注目しており、貸出金については増加しているものの、より良い条件で貸し付けが行われるよう配慮が必要だと考える。共済事業では、地域の人口減少に歯止めがかららない状況で契約者の絶対数は減少しているが、新たな保障の提案などを取り進めて参りたい」と述べた。

また本年度から始まる『第8次農業振興計画』および『第8次農協

営計画』については、「人口減少を背

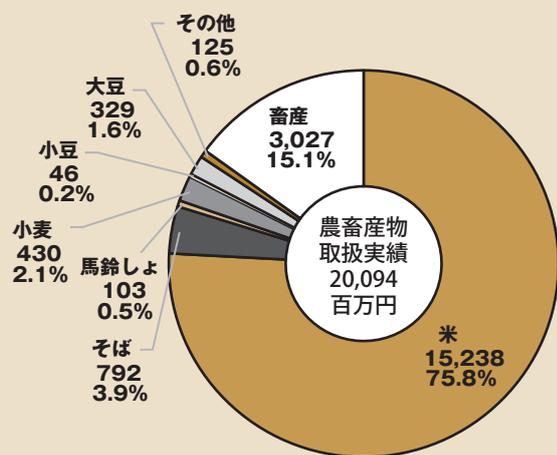
景に、地域の農業は変革を迫られている。昨年の主食用米の状況は、米価の高騰を受け、収入は増えたが、先の見通しについては不透明であり、安定した所得確保と水田の維持に向けてどのような対策が最善なのかを模索していかなければならない。目まぐるしく変わる農政に惑わされることなく、しっかりと地に足をつけて生産に勤しむ事の出来る農業、次の世代へしっかりとつなぐ事が出来る農業を目指して参りたい」と宣言し、挨拶を締めた。

続いて、深川支所音江地区の谷脇弘之氏、幌加内地区の蔵前文彦氏を議長に選出し議案審議に入り、10議案全てが原案通り可決決定され、当期未処分剰余金は前年比3千9百万円増の2億6千8百万円を計上し、剰余金処分案では、準備金や積立金による内部留保の他、販売品・営農購買品に対する事業分量配当、出資配当合わせて2億3千7百万円とす

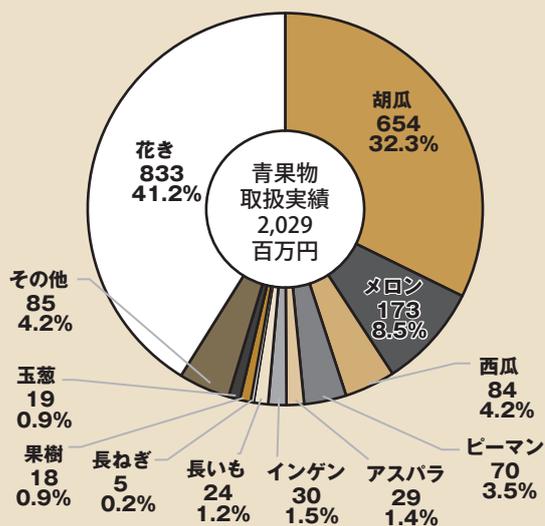


課題も残った。農産品については、麦や大豆においては、融雪が早かったことで春作業が順調に進み、平年より高温であったことや適度の降雨、また生産者の行き届いた管理により、生育が順調に推移し前年を上回る収量となった。そばにおいても、融雪が早かったことで順調に作業が進み生育も順調かと思われたが、開花期の高温で結実がうまくいかず不稔が増え、加えて強風や突然の集中豪雨などにより被害が発生し、収量は伸びなかった。畜産については、消費は回復しつつあるものの、いまだ単価の伸びは鈍く、飼料が高騰している中であつて、苦戦する結果となった。青果、花きについては、収量が少ないなか、単価高が継続し、あわせて西日本の高温の影響もあり、冷涼な北海道の気候を生かした生産が実を結ぶ。一方、個々の耕作面積の増加などにより、施設園芸などの生産者の減少に歯止めがかからない状況となっている。経済部門においては、肥料や農薬など大半の物資が為替相場の影響で高止まりし、農家経済の圧迫は続いているものの、予約購買や、肥料の銘柄の見直し、大口奨励など皆様にしっかりとご利用頂いている

農畜産物取扱実績



青果物取扱実績



※上記農畜産物取扱高に各種交付金等の収入額は含まれておりません。

第25回通常総会提出議案

- 議案第1号 令和6年度事業報告、剰余金処分案の承認について
- 議案第2号 第8次農業振興計画及び第8次農協経営計画の設定について
- 議案第3号 令和7年度事業計画の設定について
- 議案第4号 令和7年度賦課金の賦課及び徴収方法について
- 議案第5号 役員報酬の支給について
- 議案第6号 役員を選任について
- 議案第7号 退任役員に対する役員退職慰労金の支給について
- 議案第8号 定款の一部変更について
- 議案第9号 〔定款附属書〕総代選挙規定の一部変更について
- 議案第10号 信用事業規定の一部変更について



ることが承認された。
また本年は役員改選期にあたり、理事21人、監事5人の役員が選任され、このうち女性理事2名も新たに加わった。総代会終了後の理事会・監事会において常勤役員等の互選が行われた。

組合長あいさつ



きたそらち農業協同組合

代表理事組合長 岩田 清正

新緑の候、組合員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は当農協の事業運営に際しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、去る4月8日に挙行致しました。第25回通常総代会におきまして、総代の皆様にご提出致しました議案全てにおいてご承認を賜りました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

本年度は農協役員の改選期にあたり、第6号議案役員の選任議案におきましてもご承認を賜り、新役員8名と新たに特任理事2名を含む10名の新役員が就任致しました。また総代会終了後の理事会におきまして、引き続き代表理事組合長の大役を仰せつかる事となり、改めてその職責の重大さを実感し、身の引き締まる思いであります。

組合員の皆様のご理解とご協力を賜りながら農協組織運営して参りたいと考えておりますので、なお一層のお力添えをお願い致します。

さて、昨今の農業を取り巻く情勢につきましては「令和のコメ騒動」、「水田活用交付金の行方」、「物流問題」、「人手不足」、「資材高騰」、「関税の応酬」など、抱える問題は多岐に渡っております。特に、主

食用米の価格が高騰したことで、農家の収支は改善されましたが、国による「生産の目安」に疑問が残り、国民の食料であるコメを安定生産できる環境をどのように構築するかが最大の課題であると考えております。主食用米の「生産の目安」の緩和により増産の計画がなされておりますが、府県の状況もしっかりと把握した調整機能が働かなければ、また価格の下落という事態になりかねません。地域の実情をしっかりと伝え、経営の安定化に向け、更なる運動を展開して参ります。

また、昨年5月には、四半世紀ぶりに「食料・農業・農村基本法」が改正されました。これは、今までの基本法から、食料の安定供給はもとより、国民一人ひとりの「食料安全保障」を基本理念の柱として位置付けされたものです。食料は、お金さえ出せば必ず買えるとの認識から、国内生産を柱とした食料確保へ動き出しております。そのような中であって、当農協は「国民の食料は我々が守る」という強い決意で、安全・安心・安定を意識した食料生産をしなければならぬと考えております。

加えて、「水田活用直接支払交付金」の行方についても、「5年以内の水張り」の縛りが撤廃され、作物ごとの支援金に見直しするとの報道に、我々現場は混乱をきたしております。

さらに、国家間の紛争も収まる気配はなく、物価に与える影響から、我々生産コストの上昇分の価格転嫁は依然として

未解決のままです。特に、ロシアがウクライナへ侵攻して以来、肥料や燃料、飼料などの上昇が著しく、また、その上昇分を販売価格へ転嫁するにはまだまだ長い時間がかかります。

一時的な対応を求めるのではなく、長期的な視野に立った農畜産物の価格、生産コストの指標、そこから安定的な経営の姿が見えなければ、就農人口の増加には繋がりません。今後も政治的な運動を強化し、さらなる安定経営に向けて運動を展開して参ります。

本年より第8次農業振興計画、農協経営計画が始まります。農業者の減少や、人手不足が加速するなか、地域の農業をどのように守り、生産を維持できる体制を整えていくのかが大きな課題であることを認識しております。特に農家戸数の減少は、地域のコミュニティを大きく変えるほど進んでおります。官民あげての対策が必要な状況であり、引き続き各行政と連携しながら地域を守る対策を講じて参ります。

結びとなりますが、当農協の経営理念である「農業振興を通じて地域社会へ貢献」を念頭に、これからも役員一丸となり事業運営にあたって参りますので、組合員の皆様の一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

最後に皆様の御健康とご繁栄をご祈念申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

就任のご挨拶



きたそらち農業協同組合

代表理事専務 田丸利博

雪解けとともに農の営みが再び始まり、管内の大地が動き出す季節となりました。組合員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より農協事業の運営に際し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第25回通常総代会終了後の理事会において、新たな役員体制が承認され、代表理事専務の任を拝命いたしました。現在の農業を取り巻く環境は依然として厳しく、身の引き締まる思いであります。組合員の皆様のさらなる発展と、地域農業の豊かさの実現を目指し、全身全霊をもって職務にあたる所存です。何卒、組合員ならびに役職員の皆様には、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和6年5月に、「食料・農業・農村基本法」の改正法が施行されました。これは25年ぶりの大幅な見直しであり、農業が今、歴史的な転換点にあ

ることを示しております。新たな基本理念には、「良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、国民一人ひとりがそれを入手できる状態」が明記されました。近年、肥料や資材、燃油、

労務費など、農業経営に必要なコストは年々上昇しております。一方で、食料価格の上昇は消費者の関心を集めやすく、社会問題として大きく取り上げられ、生産者が価格上昇の恩恵を受けているかのような誤解が広がっている側面もあります。農協としては、合理的な費用を反映した価格形成の重要性を明確に訴え、社会全体に正しい理解を広めていく責任があると認識しております。将来にわたる食料の安定供給を維持していくためにも、消費者や行政、関連機関との対話を重ね、公正で持続可能な農業経営の実現に向けた取り組みを一層強化してまいります。

農業は、人が生きるために欠かせない基幹産業です。私たち生産者と農業団体は、担い手の確保や後継者の育成

をはじめ、長期的かつ安定した農業基盤の構築に向けて、今後さらに連携と努力を重ねていかねばなりません。

また、令和9年からは、水田活用の直接支払交付金の見直しが予定されており、令和7年度を検討期間とする方針が示されました。組合員の皆様にとって、将来への不安が高まりつつあるなか、当農協としては国や関係機関との連携を密にし、最新の情報を的確に収集・分析したうえで、営農指導を通じて丁寧にご提案してまいります。

農協組織の根幹は、組合員の皆様との信頼と連携にあります。その絆をさらに強固なものとし、未来に希望を持てる農業をとにも築いていくことが、私に課せられた大切な使命であると考えております。

結びに、北空知、上川の農業のさらなる発展と、組合員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

役員紹介

役員の任期満了により役員改選が行われ、10名の方が新しく役員になりました。また、役員体制も決まりましたので紹介します。

- ①所属委員会
- ②年齢
- ③役員経歴
- ④営農形態
- ⑤耕地面積 (田、畑、家畜)

※年齢は令和7年4月8日現在。
※田の耕地面積には転作も含まれています。

幌加内

代表理事専務
田丸利博
(常勤)

① -
② 57歳
③ 6期目
④ 水稲・畑作

⑤田 :3,940a
畑 :9,698a
家畜: -

雨竜

代表理事組合長
岩田清正
(常勤)

① -
② 60歳
③ 7期目
④ 水稲・畑作

⑤田 :3,024a
畑 : -
家畜: -

学識経験

常務理事
遠藤康博
(常勤)

①金融共済担当
② 58歳
③ 2期目
④ -

⑤田 : -
畑 : -
家畜: -

学識経験

常務理事
佐藤一久
(常勤)

①総務営農経済担当
② 55歳
③ 新任
④ -

⑤田 : -
畑 : -
家畜: -



ムム

会長理事
柏木孝文
(非常勤)

① -
② 62歳
③ 6期目
④ 水稲・畑作

⑤田 :2,787a
畑 :20a
家畜: -

多度志

地区代表理事
辻本吉和
(非常勤)

①営農販売委員会 副委員長
② 54歳
③ 3期目
④ 水稲・畑作・花き (複数戸法人)

⑤田 :4,674a
畑 :904a
家畜: -

北竜

地区代表理事
永井稔
(非常勤)

①経営管理委員会 副委員長
② 47歳
③ 3期目
④ 水稲・畑作・青果

⑤田 :2,705a
畑 :1,852a
家畜: -

納内

地区代表理事
岡田徹
(非常勤)

①営農販売委員会 委員長
② 56歳
③ 2期目
④ 水稲・畑作・青果 (複数戸法人)

⑤田 :8,013a
畑 :116a
家畜: -

ムム

地区代表理事
山崎武則
(非常勤)

①経営管理委員会 委員長
② 51歳
③ 4期目
④ 水稲・畑作

⑤田 :3,420a
畑 : -
家畜: -

幌加内

地区代表理事
岩本靖幸
(非常勤)

①経営管理委員会・営農販売委員会
② 53歳
③ 3期目
④ 畑作

⑤田 : -
畑 :10,345a
家畜: -

雨竜

地区代表理事
小山武
(非常勤)

①経営管理委員会・営農販売委員会
② 63歳
③ 新任
④ 水稲・畑作

⑤田 :2,404a
畑 :570a
家畜: -

一已

地区代表理事
長野靖
(非常勤)

①営農販売委員会
② 42歳
③ 新任
④ 水稲・畑作・花き (一戸一法人)

⑤田 :3,341a
畑 :45a
家畜: -

音江

地区代表理事
佐々木伸介
(非常勤)

①経営管理委員会
② 47歳
③ 新任
④ 青果

⑤田 :147a
畑 :10a
家畜: -
(一戸一法人)

納内

吉田 裕紀 ■理事
(非常勤)

① 経営管理委員会
② 54歳
③ 3期目
④ 水稻・畑作
⑤ 田 :3,328a
畑 :21a
家畜: -

一已

松田 直人 ■理事
(非常勤)

① 経営管理委員会
② 53歳
③ 7期目
④ 水稻・畑作・畜産
⑤ 田 :2,421a
畑 :339a
家畜:600頭
その他:1,000a
(一戸一法人)

メム

佐藤 孝俊 ■理事
(非常勤)

① 営農販売委員会
② 43歳
③ 2期目
④ 水稻・畑作・青果
⑤ 田 :2,100a
畑 : -
家畜: -

音江

長岡 祐一 ■理事
(非常勤)

① 営農販売委員会
② 42歳
③ 新任
④ 水稻・畑作
⑤ 田 :3,385a
畑 :62a
家畜: -

特任理事

井上 正恵 ■理事
(非常勤)

① 経営管理委員会
② 60歳
③ 新任
④ -
⑤ 田 : -
畑 : -
家畜: -

特任理事

溝口 めぐみ ■理事
(非常勤)

① 営農販売委員会
② 47歳
③ 新任
④ 水稻・畑作
⑤ 田 :2,289a
畑 : -
家畜: -

北竜

北清 直人 ■理事
(非常勤)

① 営農販売委員会
② 55歳
③ 2期目
④ 水稻・畑作
⑤ 田 :1,266a
畑 :93a
家畜: -

多度志

齋藤 光昭 ■理事
(非常勤)

① 経営管理委員会
② 52歳
③ 新任
④ 水稻・畑作
⑤ 田 :2,083a
畑 :625a
家畜: -



幌加内

中川 祐哉 ■監事
(非常勤)

① -
② 39歳
③ 新任
④ 水稻・畑作
⑤ 田 :853a
畑 :3,833a
家畜: -

雨竜

宮武 稔 ■監事
(非常勤)

① -
② 45歳
③ 2期目
④ 水稻・畑作・青果
⑤ 田 :3,442a
畑 :15a
家畜: -

学識経験

大久保 浩隆 ■常勤監事
(常勤)

① -
② 62歳
③ 新任
④ -
⑤ 田 : -
畑 : -
家畜: -

納内

宮崎 英希 ■代表監事
(非常勤)

① -
② 53歳
③ 2期目
④ 水稻・畑作
⑤ 田 :4,468a
畑 :629a
家畜: -
その他:4,154a
(一戸一法人)



学識経験

岡部 正人 ■員外監事
(非常勤)

① -
② 68歳
③ 2期目
④ -
⑤ 田 : -
畑 : -
家畜: -

退任役員



前一已地区代表理事
大西 修一



前多度志地区代表理事
遠藤 良明



前音江地区代表理事
近藤 育志



前音江地区理事
飯村 英樹



前雨竜地区代表理事
遠藤 清明



前常勤監事
中野 隆之



前代表監事
仙丸 孝司



4月8日に開催された第25回通常総代会をもって、近藤育志 音江地区代表理事、遠藤良明 多度志地区代表理事、大西修一 一已地区代表理事、遠藤清明 雨竜地区代表理事、飯村英樹 音江地区理事、仙丸孝司 代表監事、中野隆之 常勤監事が任期満了により退任致しました。

各役員におかれましては、JAきたそらちの地域農業の振興と農協運動の改善に取り組み、組合員の営農と生活の維持向上、信頼されるJAづくりにご尽力いただきました。

長い間大変ご苦勞様でした。



令和6年産 農畜産物共励会 表彰者

うるち米の部 (15.0ha以上)

【最優秀賞】

正田 浩貴 (深川支所一已地区)

【優秀賞】

野原 利文 (深川支所一已地区)
株式会社 幸和

(雨竜支所)

須見 和之 (雨竜支所)

遠藤 清明 (雨竜支所)

野原 康文 (雨竜支所)

【優良賞】

中島 利一 (深川支所一已地区)

橋本 貴之 (雨竜支所)

谷内 雅俊 (深川支所一已地区)

合同会社 k-flats

(雨竜支所)

合同会社 37

(雨竜支所)

高橋 知義 (北竜支所)

うるち米の部 (1.0~15.0ha未満)

【最優秀賞】

松田 一敏 (雨竜支所)

【優秀賞】

田村 和徳 (深川支所ムム地区)

株式会社 ファーム善蔵

(北竜支所)

簗島 俊幸 (雨竜支所)

沖田 努 (雨竜支所)

藤崎 義雄 (雨竜支所)

【優良賞】

黄倉 正泰 (北竜支所)

阿波 一雅 (深川支所ムム地区)

川本 和幸 (北竜支所)

山本 敏崇 (北竜支所)

有限会社 竹下村塾

(北竜支所)

曾我 誠一 (深川支所ムム地区)

尾郷 勝 (深川支所納内地区)

志部谷 悟 (雨竜支所)

株式会社 きはらふあいむ

(深川支所ムム地区)

もち米の部

【最優秀賞】

村上 勝彦 (幌加内支所)

【優秀賞】

蔵前 文彦 (幌加内支所)

秋まき小麦の部 (2.0ha以上)

【最優秀賞】

荒木 裕之 (深川支所ムム地区)

【優秀賞】

酒井 一幸 (深川支所音江地区)

あんねんfarm株式会社

(深川支所ムム地区)

【優良賞】

鈴木 努 (幌加内支所)

株式会社 小倉農園

(深川支所音江地区)

溝口 勝 (深川支所ムム地区)

糸 正幸 (深川支所多度志地区)

小田 浩明 (深川支所ムム地区)

秋まき小麦の部 (1.0~2.0ha未満)

【最優秀賞】

村上 利行 (深川支所ムム地区)

【優秀賞】

高谷 浩司 (深川支所ムム地区)

久保田泰司 (深川支所一已地区)

【優良賞】

矢野 克実 (深川支所ムム地区)

鈴木 秀通 (深川支所ムム地区)

齋藤 克司 (北竜支所)

板垣 勝明 (深川支所納内地区)

楳 勝洋 (深川支所音江地区)



大豆の部 (1.0ha以上)

【最優秀賞】

中村 広明 (深川支所ムム地区)

【優秀賞】

渡部 敏幸 (深川支所一已地区)

宮田 雅大 (深川支所ムム地区)

【優良賞】

あんねんfarm株式会社

(深川支所ムム地区)

馬場 一俊 (深川支所ムム地区)

金谷 道宏 (深川支所ムム地区)

酒井 孝雄 (深川支所ムム地区)

田村 靖人 (深川支所ムム地区)

正田 浩貴 (深川支所一已地区)

林 繁美 (深川支所ムム地区)



青果の部

【最優秀賞】

●長ねぎ

荒井 和也 (深川支所一已地区)

【優秀賞】

●インゲン

柴田 孝典 (深川支所音江地区)

●長いも

櫻井 博仁 (深川支所ムム地区)

【優良賞】

●アスパラ

太田 穂 (深川支所音江地区)

●スイートコーン

田岡 隼人 (雨竜支所)

●ひまわりメロン

渡邊 守 (北竜支所)

●ひまわりスイカ

佐藤 孝介 (北竜支所)

●南瓜

阿部 幸男 (北竜支所)

●胡瓜

株式会社 小倉農園

(深川支所音江地区)

●マダーボール

宮武 稔 (雨竜支所)

●暑寒メロン

高田 聡子 (雨竜支所)

●大玉トマト

高尾 義弘 (深川支所ムム地区)



花きの部 (10a以上)

【最優秀賞】

北原 和夫 (深川支所納内地区)

【優秀賞】

安部由美子 (深川支所一已地区)

花きの部 (10a未満)

【最優秀賞】

近藤 洋介 (深川支所ムム地区)

【優秀賞】

寺本 義隆 (深川支所音江地区)

令和6年産 生乳品質共励会表彰者

生乳の部

株式会社 藤川農場

(深川支所一已地区)





水稻の播種作業開始



4月6日に管内のトップを切り、一已地区で水稻の播種作業が始まった。

4月17日に播種作業を始めた 藤田涼太郎さん(雨竜支所)は、約22haを作付しており、「ななつぼし」「ゆめぴりか」の2品種をビニールハウス10棟で育苗する。作業の開始は例年通りの時期で、水田への移植は5月17日頃を予定している。藤田さんは、「経営主となって3年目、まだまだ自分の思う通りにいかない事もありますが、日々色々なことに挑戦して営農に取り組んでいきたいです」と笑顔で話す。

管内の播種作業は、4月下旬まで続く。

【雨竜支所 佐野】



深川産和牛の新たな挑戦 加工品開発が本格始動

販売部

深川市では、地元産和牛「ふかがわ牛」を活用した加工品の試作が始まり、3月26日には試作品試食会が開催された。本プロジェクトは「ふかがわ肉牛組合」の馬場勇二氏(一已地区)による提案がきっかけ。馬場氏は「ふかがわ牛」の加工品開発に必要な食材として、牛肉20kgを提供する。同市は畜産業の盛んな地域でありながら、地元産牛肉の多くが域外に出荷されている。地元での消費やブランド化が進んでいない現状を受け、同市の農畜産物処理加工施設を活用し、地域ブランドづくりが始まった。

試食会には、同市、当JA、(株)深川未来ファームの関係者ら12名が参加し、ローストビーフ、味付け焼き肉、ジャーキー、ハンバーグ、サラミの5品目を試食した。今回の使用部位はブリスケ(肩バラ肉)と外モモ肉。試作は同社の加工施設スタッフが担当し、地元産を想定したリンゴや米粉を活用するなど工夫を凝らした。参加者は「味のバリエーションが豊富で商品化に期待が持てる」、「地元の牛肉を生かした新たな挑戦。今後の展開が楽しみ」など、感想を出し合った。

今後は、商品開発を進め、ふるさと納税の返礼品や販売を視野に入れながら、地域経済の活性化と生産者の所得向上を目指す計画。今回のプロジェクトを担当する同市経済・地域振興部農政課の西川剛史課長は「市の食肉加工施設を活用し、地域振興につなげたい」と意気込みを語った。

【営農企画課 松本】



甘くて美味しいひまわりすいかをお楽しみに 北竜町特産「ひまわりすいか」定植作業スタート

青果部

4月3日、北竜町特産で黄色い果肉が特徴の小玉すいか「ひまわりすいか」の定植作業が同町で始まった。この日、株式会社 高田（高田駿樹 代表取締役）の圃場で作業が行われ、同社の約10名が高さ15cm程に育った苗約800株をハウス4棟に定植した。

当JAの「ひまわりすいか組合」では今年度、約22,000箱を出荷し、約8,000万円の販売額を見込んでいる。6月上旬頃から出荷開始予定で、主に札幌・旭川の市場へ運ばれる。同月中旬頃には、同町農畜産物直売所「みのりっち」や深川市の当JA農産物直売所「eciR」の店頭にも並び予定。

【青果課 川本】



学校給食に地元のお米

各地区へ2か月分を贈呈

4月3日、当JAとJA北いぶきで組織する北空知広域農業協同組合連合会が、北空知圏学校給食組合へ北空知管内産「ななつぼし」2か月分（5,000kg）を贈呈した。

この日、同農協連の黒田洋一会長（JA北いぶき組合長）と岩田清正会長代理（当JA組合長）が深川市役所を訪問し、同給食組合の組合長である田中昌幸深川市長へ目録を手渡した。田中市長は「毎年、北空知圏の子どもたちのために学校給食米を贈呈いただき心から感謝している。『令和の米騒動』で非常に米価が上がり、お米の確保が大変な状況のなか、5,000kgもの大量のお米を確保いただいた。またお米に加え様々な地元の農畜産物も供給いただいております、子どもたちが安心・安全にお腹いっぱい学校給食を食べることができているのも生産者の皆様のおかげ。今後も継続してご協力願いたい」とお礼を述べ、黒田会長へ感謝状を手渡した。

贈呈した米は、同給食組合に所属する深川市と沼田町、妹背牛町、秩父別町、北竜町の学校給食として、4月と5月に生徒児童と教職員あわせて約1,800人へ提供される。

また当JAとしては、同月2日に幌加内町、4日に雨竜町へそれぞれ2か月分の学校給食米を贈呈した。

【営農企画課 白川】



北空知圏学校給食組合



雨竜町



幌加内町

令和7年度

JAきたそらち作物別生産者組織役員名簿

作物部会名	組 合 長	副 組 合 長	会 計	理 事	監 事
北斗メロン生産協議会	橋本 健(一)	荒井 和也(一)	橋本 健(一)		荒井 和也(一)
雨竜町メロン部会	林 伸昌(雨)	安田 雅嗣(雨)	安田 雅嗣(雨)		須見 和之(雨)
北竜メロン生産組合	山田 敏光(北)	渡邊 靖範(北)	渡邊 靖範(北)		石井 隆(北)
きたそらち果菜生産組合	沖田 孝俊(雨)		荒井 和也(一)	藤井 勝茂(一) 神尾 綾子(一)	松永 徹(秩)
きたそらち豆類生産組合	神尾 綾子(一)	松木 薫(雨)	松木 薫(雨)		竹谷 全(北)
きたそらち蔬菜生産組合	松田 力(北)	白岡 直樹(北)	石川 雅志(一)	川越 豊治(雨)	塩田 吉範(一)
きたそらち胡瓜生産組合	川村 正人(音)	栗野 良寛(音)	小倉 孝一(音)		山崎 靖博(音) 高瀬 慎司(一)
きたそらちマダボール生産組合	佐々木健一(雨)	高田 敬大(雨)	佐々木健一(雨)		高田 敬大(雨)
ひまわりすいか組合	高田 秋光(北)	佐藤 孝介(北)	佐藤 孝介(北)		渡邊 俊成(北)
きたそらち大玉トマト部会	土居 健一(北)	高尾 義弘(夙)	土居 健一(北)		高尾 義弘(夙)
きたそらちスイートコーン生産組合	高田 浩(雨)	佐々木健一(雨)	高田 浩(雨)		佐々木健一(雨)
きたそらち苺生産組合	尾嵯 雅一(夙)	松浦 進(納)	尾嵯 雅一(夙)		松浦 進(納)
きたそらち果樹生産組合	高村 雅紀(納)	瀬川 直希(音)	野田 晃宏(音)	田川 大輔(音)	林 祐輔(音) 庄司 俊喜(納)
きたそらち醸造ブドウ生産組合	眞鍋 文雄(多)	佐藤 眞昭(多)	眞鍋 文雄(多)		佐藤 眞昭(多)
きたそらちにんにく生産協議会	増田 貴志(一)	江幡 良博(夙)			寶利 靖必(音)
旬 菜 部 会	林 祐輔(音)	増田 慶仁(一)	尾嵯 香代(夙)	庄司 俊喜(納)	知久 秀美(音) 阿波 一雅(夙)
きたそらちピーマン生産組合	折野 哲也(一)	三谷 好美(音)	折野 哲也(一)		三谷 好美(音)
きたそらち根菜生産組合	河合 暢(夙)	馬木 逸男(夙)	金谷 道宏(夙)	櫻井 博仁(メム)	馬木 逸男(夙)
北育ち元気村花き生産組合	田村 昌之(妹)	内藤 敬人(音) 松本 和宏(北)	室田 健一(沼)	尾嵯 雅一(夙) 菅原 浩道(納) 遊佐 稔(多) 永野 義典(雨) 越智 利政(秩)	神尾 誠(一) 定講 保男(妹)

きたそらち青果・花き生産運営協議会 役員	会 長	副 会 長	理 事		
	松田 力(北)	尾嵯 雅一(夙)	高田 浩(雨)	林 祐輔(音)	内藤 敬人(音)

きたそらち青果・花き生産運営協議会 委員	橋本 健(一) 高田 秋光(北) 折野 哲也(一)	林 伸昌(雨) 土居 健一(北) 河合 暢(夙)	山田 敏光(北) 高村 雅紀(納)	沖田 孝俊(雨) 眞鍋 文雄(多)	神尾 綾子(一) 増田 貴志(一)
----------------------	---------------------------------	--------------------------------	----------------------	----------------------	----------------------

※ () 内は地区を示しております。

音は音江、一は一已、納は納内、多は多度志、雨は雨竜、北は北竜、幌は幌加内、秩は秩父別、妹は妹背牛、沼は沼田。

令和7年度 青果部 作物別業務担当配置表

品目名	担当	補佐	地区					生産組合事務局		
			深川市内	雨竜地区	北竜地区	幌加内地区				
北斗メロン	柏倉		柏倉					北斗メロン	柏倉	
胡瓜	楠木	川本	楠木	川本				胡瓜	楠木	
豆類	柏倉		柏倉	川本	富田	藤川		豆類	柏倉	
ピーマン	柏倉		柏倉	川本				ピーマン	柏倉	
いちご	柏倉	大竹	柏倉			藤川		いちご	柏倉・大竹	
長ねぎ	柏倉		柏倉		富田			果菜	柏倉・衣川	
ミニトマト	衣川	柏倉	柏倉	衣川						
りんご	富田	川本	富田					果樹	富田・衣川	
さくらんぼ	富田	川本	富田							
ワインブドウ	藤川	富田	藤川	富田				ワインブドウ	藤川・富田	
西洋・日本南瓜	楠木	衣川	楠木	衣川	富田	藤川	楠木	蔬菜	楠木・衣川	
アスパラ	柏倉	衣川	楠木	柏倉	富田	藤川				
とまと	藤川	衣川	衣川			藤川		とまと	藤川・衣川	
長いも	衣川	楠木	衣川	楠木				根菜	楠木・衣川	
百合根	衣川	楠木	衣川	楠木						
にんにく	楠木	衣川	楠木	衣川	富田	藤川		にんにく	楠木・衣川	
玉ねぎ	柏倉	大竹	柏倉					玉ねぎ	柏倉	
さつまいも	衣川	川本	衣川	川本	富田	藤川				
雨竜メロン	富田				富田			雨竜メロン	富田	
西瓜(マダー)	富田				富田	藤川		マダーボール	富田	
スイートコーン	富田		柏倉		富田	藤川		スイートコーン	富田	
北竜メロン	藤川					藤川		北竜メロン	藤川	
西瓜(ひまわり)	藤川					藤川		ひまわりすいか	藤川	
その他青果物			楠木	柏倉	富田	藤川	楠木			
旬菜	蓑口	堀	蓑口・堀					旬菜	蓑口	堀



3月24日、岩石と場の特性を活用した風化促進技術「A-ERW(Advanced Enhanced Rock Weathering)」開発プロジェクトの試験地域報告会が、当JA雨竜支所で開催された。試験を実施した北海道大学から教授3名、白川久純雨竜町長、試験地を提供した当JA岩田清正組合長のほか、自治体関係者や生産者など、あわせて23名の関係者が参加した。

同プロジェクトは、NEDO（(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構）における挑戦的な研究開発として位置付けられ、同大学のほか、早稲田大学や三菱重工業（株）など14機関が参画している。農地に岩石を散布して二酸化炭素（CO₂）を減らす技術「ERW」は、海外を中心に展開されており、その水田における基礎データ収集のため、今回、実証試験地を提供した。

報告会では、同試験で雨竜町の水田内に設置された施用区と無施用区の生育を比較し、散布した玄武岩含有のミネラル成分がコメにもたらす影響を測定した結果、収量1割程度増、登熟歩合もわずかながら上昇したほか、メタンなどの温室効果ガスの排出増も無いなど、農地への悪影響は見られなかったこと、また翌年度に向けては、本年実施できなかった食味への影響や二酸化炭素（CO₂）を含めた炭素吸収度合を含めて継続調査することなどが報告された。日本が2050年までにカーボンニュートラルを達成するという国際公約のもと、同プロジェクトはカーボンクレジット認証取得目的の取り組みとして進められており、日本初のERWにおけるカーボンクレジット認証の基礎として、国内はもとより国外における排出権取引に用いられることになることから関係者の期待も高い。

白川町長は総評の中で「雨竜米がCO₂を減らした環境配慮のコメという新たなブランドとして広く認知されたら」と期待を寄せる。

【振興課 廣田】



令和7年度「北育ち元気塾」開講式・第1回研修会 開催

**農業
振興部**

4月4日、令和7年度「北育ち元気塾」の開講式および第1回研修会がJA北いぶき秩父別本所にて開催され、元気塾生と関係機関の役職員が出席した。

同塾は、北空知農業後継者育成支援協議会（中西秀幸会長）が主催・運営し、2年間のカリキュラムにて土壌や農業肥料、農業経営など農業全般の基礎知識や多くの技術を講義、実習、視察研修を通じて学ぶことを目的に活動している。

開会にあたり、中西会長は「昨今の異常気象による収量の変化、それに伴う価格変動等と我々の営農は現在厳しい状況。当塾では営農に係る基本的な部分はもとより、指導農業士の講義や圃場見学等も研修内容に含まれているため、自身の営農の参考にさせていただき、また現在農業が抱える課題の解決に結びつけられるよう、発見や学びのある有意義な2年間で過ごしていただきたい」と挨拶した。

続いて塾生の紹介が行われ、今年度の元気塾生31名（JAきたそらち管内17名）と各地区から様々な新規就農者が参加し、そのうち17名が開講式に出席した。

式終了後には第1回研修会が開催され、引き続き中西会長による自身の営農経験に基づいた講演会が行われ、研修会後の茶話会では、塾生同士が就農の経緯や経営形態などを話題に親睦を深めた。

【営農企画課 河端】



北海道農協青年部協議会第74回定期総会

4月3日、北海道農協青年部協議会(高見章太会長)が札幌市内で第74回定期総会を開催し、全道各地の青年部盟友約300名が出席し、うちJAきたそらち青年部(徳重雅也部長)の本部役員5名が出席した。

前段に令和元年度と令和2年度に同協議会長を務めた村田辰徳氏(JA幕別町)による講演が行われ、「JA青年部活動・リーダーの役割」という題し、自身の経歴や青年部活動を通して学んだことを語った。

総会では、同協議会の高見会長(JAたいせつ)が開会にあたり「道青協としては現在、約5,200名の盟友数で活動してるが、毎年約200名ずつ減少し来年には5,000人を切る勢いで推移している現状。盟友数の減少を抑えるためにもより魅力ある青年部活動を発信し続け、盟友の皆様と手を組んで青年部活動を盛り上げ、さらなる北海道農業の発展に貢献していきたい」と挨拶した。

議事ではJAいわみざわ青年部とJAるもい青年部の盟友が議長に選出され、事業・決算報告並びに事業計画・予算案などが原案通り承認された。役員改選について、高見会長が会長として再任され「昨年に続き北海道を代表して全国に北海道農業の魅力を伝え、日本の農業は北海道が先頭に立って牽引していくという気持ちで今年度も活動に励みます」と意気込みを語った。

なお、新役員は下記の通り。

【営農企画課 河端】



役職	氏名	支部
会長	高見 章太	JAたいせつ
副会長	藤原 啓輔	JA北いしかり
副会長	佐藤 慎哉	JAオホーツク網走

役職	氏名	支部
副会長	遠藤 洋志	JA中標津
監事	中島 健佑	JAるもい
監事	稲屋 津宇	JA帯広大正

女性部フレッシュミズ 深川市社会福祉協議会へリングプル寄贈

女性部フレッシュミズでは、社会福祉活動の一環としてアルミ缶のリングプル回収運動を行い、3月31日に深川市社会福祉協議会へ寄贈した。

同部では、小さなリングプルの寄贈で体の不自由な方々の手助けになればという思いから毎年回収しており、一定重量が集まった段階で同協議会に贈呈している。リングプルは150万個～180万個(約800kg)で車椅子1台と交換ができ、福祉施設等へと寄贈される。

令和6年度は、女性部や当JA組合員などからたくさんの協力を受け、回収したリングプル22.7kgを同協議会へ寄贈した。

また、フレッシュミズでは、今年度より社会貢献活動の一環として、着られなくなった子ども服や使われなくなったおもちゃ等を回収し、(株)イオンモールが「まちの資源循環」として各店舗に設置している資源回収BOXなどへ寄贈する新たな活動を計画している。

フレッシュミズ北竜支部会長の山外由佳氏は「活動の中で回収した物をイオンさんのご協力を得て、衣類を必要としている方々に届けたり、リサイクルして新たな資源に生まれ変わらせたりすることで、少しでも廃棄問題対策や資源循環に貢献できれば」と話す。

【営農企画課 石野】



令和6年度で回収したリングプル

効率化と収益向上とのカギ

水稲直播栽培講習会を開催

4月2日、「水稲直播講習会」が当JA幌加内支所で開催され、直播における圃場準備や播種後の水管理、除草体系を学び合う貴重な機会として、新たに直播栽培に取り組む農業者を中心に8名が参加した。

同講習会は、幌加内町内において新たに水稲直播栽培に取り組む生産者の増加を受け、良質な主食用米やWCS用稲を直播で生産するための栽培知識を深めることが目的。

上川農業改良普及センター士別支所より専門主任の佐竹浩二氏と普及職員の鎌田慎也氏を講師として迎え、「幌加内町稲WCS～湛水直播栽培の作業と注意点～」と題し、湛水・乾田直播栽培それぞれの長所と短所や作業の違い、専用播種機やドローンを使った播種の注意点、圃場作りや水管理のポイントなどの説明を受けた。

参加者からは「実際の作業に即した具体的な話が多く、これからの作業計画に大変役立つ」と技術習得への意欲と地域全体で品質向上を目指す姿勢が見受けられた。

今後も幌加内支所では、水稲直播栽培による増収増益のため、こうした実践的な講習会や情報交換の場を継続的に提供する予定。

【幌加内支所 中原】



JAボランティア花菜

そば大福を幌加内町社会福祉協議会等へ寄贈

3月27日、JAボランティア花菜（井上信子会長）が幌加内町社会福祉協議会と町内の福祉施設へそば大福の寄贈を行った。

この日は、同会員8名が参加してそば大福を手作りし、井上会長ができたてのそば大福を各施設へ訪問して手渡すと、「そば大福を毎年楽しみにしています」と言葉をいただいた。

【幌加内給油所 岩本】



幌加内支所



音江年金友の会 第36回定期総会を開催

金融
共済部

4月9日、音江年金友の会が「第36回定期総会」を金融共済音江支所にて開催した。当日は会員19名が参加し、終始和やかな雰囲気の中で議事が進行した。

総会では、伊藤博明会長が挨拶の中で、会員の皆様への感謝とともに今後の活動への意気込みなどについて述べ、議事では令和6年度の事業報告と令和7年度の事業計画が全会一致で承認された。

本会では、今後も地域の皆様とともに充実した活動を展開してまいります。これからのご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、役員の新体制は以下のとおり。

【金融共済音江支所 伊藤】

役職	氏名	備考
会長	伊藤 博明	再任
副会長	林 宏明	再任
会計	斉藤 勉	再任
監事	近澤 豊実	再任
〃	太田 博子	新任

役職	氏名	備考
顧問	石山 正利	再任
地区支部長	澤田 政一	再任
〃	渡辺 悦子	新任
〃	広瀬 三之	再任
〃	菅原 隆	再任



青年部深川支部・雨竜支部のインスタはこちら！



@JA.YOUTH_FUKAGAWA



@URYU_SEINENB



青年部での活動、日々の農作業の様子などを青年部員が投稿しています♪
ぜひ、フォローしてチェックしてみてください！



金融共済部からのお知らせ

TKCシステムご利用法人様および個人事業者様へのお願い

当JAへの 決算書・月次試算表の提供は デジタルで

デジタル化のメリット

- 1 決算書・月次試算表のコピーなどを準備する必要がなくなります
- 2 事前に提供いただくことで、ご面談時により深い対話が可能となります
- 3 信頼性の高い決算書をいただけるため、貴社からのご相談にスムーズに対応できます

TKCグループ提供のTKCモニタリング情報サービスにより税理士事務所等から税務署への申告書送付時にJAへも決算書、財務諸表等の関係書類が送付されます。



貴社の決算書にTKCマークが付されていれば
デジタルで提供できます。

個人事業者の場合、TKCシステムで作成される決算書はTKCマークは付されていません。デジタルで提供が可能かは会計事務所にご相談ください。

ご利用にあたっては、税理士事務所、会計事務所にご相談のうえお申し込みください。

きたそらち農業協同組合 金融共済部 融資課

令和7年度 新採用職員紹介

4月1日より2名の新採用職員が入組しましたので、ご紹介いたします。

※ホワイトボードに、これからの『目標』を書いてもらいました！

- ①出身地 ②出身校 ③趣味・特技 ④組合員の皆様に一言





青果部 青果課

①旭川市
②旭川市立大学
③園芸
④慣れないことばかりで、ご迷惑をおかけしますが、精一杯頑張ります。よろしくお願いたします。

ころもがわ けいしゅん

衣川 馨竣

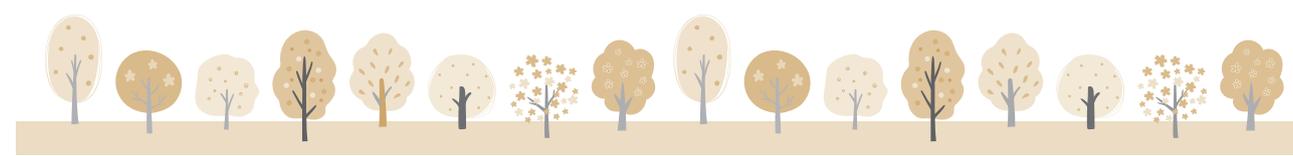


経済部 北竜資材課

①深川市
②深川東高等学校
③運動をすること
④わからないことがたくさんあると思いますが、精一杯頑張ります。よろしくお願いたします。

ふじせ しょうたろう

藤瀬 秀太郎



新入職員のお知らせ (キャリア採用)

\\ よろしくお願いたします! //



令和7年1月1日付
青果部 施設課
しょうじ はるな
庄司 遥楠



令和7年3月1日付
販売部 農産課
むらかみ ゆうた
村上 裕太

普及センターからのお知らせ

空知農業改良普及センター北空知支所(地域第一係・第三係)および上川農業改良普及センター士別支所(地域第一係)における、令和7年度の活動体制についてお知らせします。

※専主:専門主任 専普:専門普及指導員 専職:専門普及職員 普指:普及指導員 普職:普及職員

空知農業改良普及センター北空知支所 地域第一係【深川市】・第三係【雨竜町・北竜町】



前列左から▶

専普 犬塚 紫陽(第一係・畑作)、主査(地域支援) 赤池 利恵(第一係・園芸)、係長 石川 美貴(第一係・水稻)、支所長 石村 博之(畑作)、係長 北島 潤(第三係・畑作)、主査 齋藤 太香詞(畜産)、専主 池田 祐規子(第三係・園芸)

後列左から▶

普職 大平 真由(第一係・園芸)、専普 山黒 彩菜(第一係・水稻)、専普 平石 留偉(第一係・園芸)、専主 酒井 紀彰(第一係・畑作)、普職 山角 侑生(第三係・園芸)、専普 長田 隼一(第三係・水稻)、専職 倉下 桂輔(第三係・水稻)

上川農業改良普及センター士別支所 地域第一係【幌加内町(・士別市)】



前列左から▶

係長 笹村 直弥(園芸)、支所長 山崎 和也(園芸)

後列左から▶

主査 林 悟(畜産)、普職 鎌田 慎也(稲作)、専普 植草 聡太(畑作)、普職 牧川 雪乃(園芸)



●概要

百日咳とは、百日咳菌を原因菌とし、けいれん性の咳発作などを症状とする感染症のことです。小児に多くみられる病気で、1歳未満の乳児（特にワクチン未接種の生後3か月以下）では重症化し、死亡することもありますが、大人がかかった場合は咳が長引くものの重症化することは少ないですが、周りの子どもに感染させてしまう原因となります。こうした百日咳による小児の重症化・死亡を防ぐために、世界各国で小児への百日咳ワクチンの接種が進められてきました。ただし、ワクチンの効果は4〜12年で減弱するといわれており、近年では小学校高学年以上を中心に患者が増加傾向にあるといわれています。

●原因・症状

百日咳は、飛沫感染と接触感染が主な感染経路で、細菌を含む飛沫を吸い込んだり、細菌が付着した手で鼻や口などを触ったりすることで感染します。全年齢でかかることがあり、特にワクチン未接種の生後3か月以下では死亡や重症化のリスクが高いといわれています。軽症であっても菌が排出されていることがあり、特に成人では気付かないうちに保菌者となり、ワクチンを接種していない小児に感染させていることがあります。百日咳ワクチンは重症化や死亡の予防に有効で、リスク減少の効果は80〜85%です。また、最後に百日咳ワクチンを打ってから4〜12年程度で効果が減弱がみられるため、百日咳ワクチンを接種してもかかることがあります。約2〜3週間にわたって、痙咳（けいがい）と呼ばれる、特徴的ないれん性の咳の発作がみられるようになります。短い咳が続いた後に、息を吸うときにヒューという笛のような音が出る咳症状が発作的に繰り返されます。また、嘔吐を伴うこともあります。発作は夜間や何らかの刺激が引き金となっ

たときに起こることが多く、発作がないときは無症状であることが多いです。

●検査・診断

症状から百日咳が疑われ、百日咳菌の存在を示す百日咳検査で陽性となれば、百日咳と診断されます。また、百日咳検査を行わない場合でも、百日咳の症状があり、さらに百日咳検査が陽性であった人との接触がある場合は百日咳と診断されることがあります。百日咳検査は、原因菌そのものの有無を証明する検査、原因菌の毒素に対しての抗体を血液で調べる検査があります。

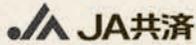
●治療

百日咳の治療は、マクロライド系と呼ばれる種類の抗菌薬による薬物治療が中心となります。特に、発症早期のカタル期に治療を始めるとうい効果期待できますが、長引く咳になっている段階では、すでに菌はいないことが多く、気管支などのダメージがすでに完成しているためあまり症状の改善は得られません。

●予防

百日咳は、百日咳ワクチンを接種することで80〜85%の予防効果があります。百日咳は小児で重症化や死亡リスクが高い病気であることから、対象の時期になったらなるべく早く接種を受けることが大切です。現代の最新医療の治療を行っても、ワクチンを接種していない乳児は重症化や死亡へと進行していくことがあり、治療よりもワクチンで予防することが何よりも重要です。

金融共済部からのお知らせ



誰もが“がん”になり得る時代だからこそ！



がんのこと一緒に考えてみませんか？



1
知っていますか？
がんの今

2人に1人は“がん”
と診断されるリスクが…^{※1}



もしも、がんになったらどんなことが心配ですか？

- 命にかかわることへの不安 治療費への不安 収入が減ってしまうことへの不安

※1 国立がん研究センターがん情報サービス「累積がん罹患リスク(2020年データに基づく)全がん」

2
知っていますか？
がんの今

がんの死亡率は低下し、5年生存率も向上しています。
がんは、「付き合っていく病気」に変わってきています。

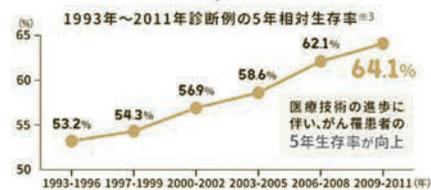


がんの死亡率は低下しています



※2 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計)をもとにJA共済連作成

がんと診断されてから
5年後も生存されている方が増えています。



※3 国立がん研究センターがん情報サービス「全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告(国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター、2020)独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費「地域がん登録精度向上と活用に関する研究」平成22年度報告書

入院は短期化。通院治療は増加しています。
また、仕事をしながら通院している人も多く、がんは治療と仕事を両立する時代にもなっています。



①:厚生労働省「平成17年、令和5年 患者調査」をもとにJA共済連作成 ②:厚生労働省「令和5年(2023)患者調査の概況」をもとにJA共済連作成 ③:厚生労働省「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン 令和6年3月改訂版」(資料:厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」をもとに同省健康局医療課にて特別集計したもの)

しっかり治療に専念できるように、
いまから備えておくことが大切です。

必要な備えについては、裏面へ

金融共済部からのお知らせ

上皮内がんを含む
さまざまな

がん共済 JAのがん共済は

“がん”や脳腫瘍の診断時や再発時、
入院・手術・通院など幅広く保障します。



1
安心

がんの3大治療法に対応!

入院や手術・放射線治療はもちろん、抗がん剤治療やホルモン剤治療、がん性疼痛等の緩和のための在宅医療も保障します。^{※1}

幅広い保障範囲



※1 入院およびこれらの治療を以下「所定のがん治療」といいます。手術、放射線治療、抗がん剤治療、ホルモン剤治療およびがん性疼痛等の緩和のための在宅医療については、公的医療保険制度に基づく所定のがん治療が対象です。 ※2 先進医療保障ありを選択した場合

2
安心

所定のがん治療を受けた月ごとに、
がん治療月額共済金^{※3}を受け取れます!

通算の支払回数に
上限はありません!

通院による抗がん剤治療など、入院している場合の治療に限らず、保障します。

※3 がん治療月額共済金のお支払いは、月に1回を限度とします。



3
安心

オプションの保障で
ご意向にあわせた保障を自由に設計!



まとまった一時金の保障(がん診断共済金^{※4}・がん治療一時金^{※5})

がん診断以後の共済掛金の払込みを免除する保障^{※6}

生活費やウィッグの購入費用、妊孕性の温存療法の費用など、がん治療に伴うさまざまな自己負担となる費用にご活用いただけます。

がんと診断された場合に、共済掛金の払込みを免除することで、がんによる収入減少時にも安心して保障を継続することができます。

※4 診断保障ありの場合、がん診断共済金は共済期間を通じて1回のみ支払われます。 ※5 診断保障ありの場合、がん治療一時金は、がん診断共済金または前同のがん治療一時金の支払事由に該当した日からその日を含めて1年を経過した日以後、所定のがん治療を受けた場合にお支払いします(1年に1回を限度)。 ※6 がん診断共済掛金払込免除特例を付加した場合

*この共済の対象となる「がん」は、所定の悪性新生物(上皮内新生物を含む)および脳腫瘍です。*共済金のお支払いや共済掛金の払込免除には所定の要件があります。

くらしのこと
アンケートキャンペーン

ライフイベントなどの簡単なアンケートに答えるだけで
豪華賞品が当たるチャンス!

応募はこちら▲

お近くのJA窓口へ、お気軽にご相談ください。

JA共済
JAきたそらち

本所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
香江支所 TEL 0164-25-1111 雨竜支所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北電支所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

詳しくは、ホームページをご覧ください。
<https://www.ja-kyosai.or.jp>

JA共済

●この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

25481020212

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp

1		2		3	4		5
	B						
		6	7	E			
8	9		10			11	
12					13		
	A		14				C
15		16			17	22	
18				19			20
		21					
			D				

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

【タテのカギ】

- 強く願い望むこと。希望。
- 積み重なったもの。かさなり。
- 他と比べて特に異なっていること。
- 地上に出ている部分がやわらかく、木にならない植物。
- 黒く書かれた文字。収支決算がプラスになること。
- モーターボートによる競争。またそれを賭け事の対象とする賭博。ボートレース。
- 国が功労のあった人に授ける記章。
- 子供の出生率・出生数が減少すること。
- 賞として与える金銭。くじなどに当たった人に与える金銭。
- 疑って問うこと。疑わしいこと。「〇〇点」
- よく似ていること。
- 湯などから立ちのぼる水蒸気が冷えて、白い煙のように見えるもの。
- 海や川が陸と接する境目。水ぎわ。

【ヨコのカギ】

- ある物事を始めた最初の人や店。
- 有利な方策。得になるやり方。
- 池や田んぼに浮かぶ水草。
- 同等以下の相手に対して男性が自分を指し示す言葉。
- 酒などに酔うこと。酔った状態。「〇〇が回る」
- 他人の意見や行動に賛成し、後押しすること。
- 体操やスポーツなどで体を動かす事。
- 書かれた文字。書いてまとめた物。書物。
- 自分の手で作った料理。
- 魚の仲間。
- 体が大きく、古くから家畜として飼われている。乳用や肉用など多数の品種がある。
- すさまじい勢い。猛烈な威力。
- 降り積もった雪をかいて除くこと。除雪。また、そのための道具。
- 役に立つような言葉を添えて助けること。また、その言葉。アドバイス。

3月号の正解は

「サクラモチ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

雨 竜 町 吉見サヨ子 様
 雨 竜 町 小嶋 陽子 様
 幌加内町 中山 春江 様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上応募下さい。

締切5月31日消印有効で当選者とクイズの答えは令和7年7月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課 FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL:http://www.ja-kitasorachi.com/living/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。



四月俳句

● 雨竜俳句会

また降るやまだ降り足らぬ春の雪
 散策や無聊をかこつ春の昼
 春北風風車はゆっくり回りけり
 春の朝コーヒー一杯飲み外へ
 ふるさとに春は訪れ君は去る
 チューリップ一輪買って亡き母へ

北川 満江
 小山 邦男
 佐々木待子
 松木 五月
 宮武めぐみ
 吉見サヨ子

● 「道」俳句会 北竜支部

ハウスより仕事始めの雪狼煙
 種選ぶ隣に遅れ取るまいと
 春泥の虜となりし三輪車
 空知野に大蛇のごとき雪解川
 めざすもの見つけたかしら雀の子

山岸 正俊
 吉尾 広子
 阿部れい子
 山下 好晴
 佐藤美智子

● 土筆俳句会

雲往きて春寒の日をさらひけり
 囀や遺影の父母と聞いてある
 きのふより大きくなりて入園す
 鈎の手に北風測り雁帰る
 春疾風精悍揃いの球児達
 迫り来る暑寒の峰や春の空
 澄み渡り未来広がる卒業歌
 屑米を催促するや雀の子
 水温む家事無き朝の目覚めの茶

高尾美津子
 池田 美知
 南川富美子
 佐藤英三子
 滝口富美子
 菅原 優子
 森田裕美子
 沼田留美子
 小橋 厚子

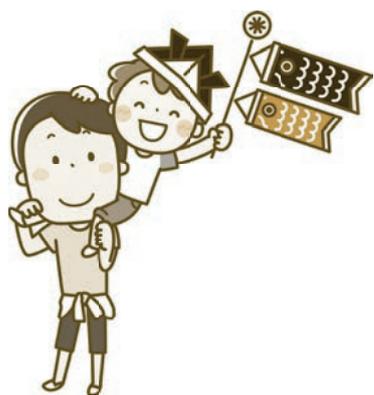
第3回理事会〈令和7年3月21日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 組合員の加入脱退について
3. 財務報告及び事業実績について
4. 第25回通常総代会開催要領について
5. 固定資産の取得・修繕について
6. 職員の人事及び業務事故について
7. 令和6年度職員の人事考課・準職員の評価結果及び令和7年度定期昇給について

- 議案第1号 令和6年度決算棚卸立会及び決算定期監査の結果について
- 議案第2号 独立監査人の監査報告書について
- 議案第3号 令和6年度監査報告書について
- 議案第4号 令和6年度決算関係書類及び部門別損益計算書について
- 議案第5号 第25回通常総代会の日時及び場所について
- 議案第6号 第25回通常総代会の目的である事項について
- 議案第7号 通常総代会の議決権行使書面について
- 議案第8号 総代選挙主要日程について
- 議案第9号 組合員の出資金持分譲渡について
- 議案第10号 リース資産の取得について

8. 学経役員候補者特別加給退職金の支給について
9. 貸出金の貸付報告について
10. A L M委員会の報告について
11. 金融 相談・苦情等対応状況の定期報告について
12. 共済 相談・苦情等対応状況の定期報告について
13. 令和7年度畜産物の販売実績（2月末）について
14. 令和7年産米集荷に向けた対応について

- 議案第11号 余裕金の運用について
- 議案第12号 役員を選任について
- 議案第13号 退任役員に対する退職慰労金の支給について
- 議案第14号 職員就業規則の一部改正について
- 議案第15号 準職員就業規則の一部改正について
- 議案第16号 理事に対する貸出承認について
- 議案第17号 労働保険事務組合の令和6年度徴収・納付状況報告について
- 議案第18号 各種補助事業に係る事務委託契約締結による取り進めについて
- 議案第19号 令和6年産 農畜産物共励会について
- 議案第20号 令和7年度 系統外販売取引先選定について



組合員の動き

(令和7年3月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,156	12	10	1,158
	団体	110	2	0	112
准組合員	個人	5,326	16	16	5,326
	団体	261	0	1	260
正組合員戸数		818	1	0	819



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和7年3月実績

発電電力 48,335 kWh

計画対比 6,812kWh

前年対比 Δ15,044kWh

売電金額 1,933,400円 (40円/kwh)

○累計 (R6.12~R7.3)

発電電力 79,269kWh

計画対比 6,532kWh 前年対比 Δ46,709kWh

JAきたそらちからのお知らせ

JAきたそらち

▶ JAきたそらちについて

▶ 地域紹介

▶ 特産品

▶ 新規就農

▶ ネットショップ

▶ JAバンク・JA共済

▶ 組合員専用情報



農業振興を通じて
地域社会へ貢献。



お留守の手紙

ホームページリニューアルしました!

<https://www.ja-kitasorachi.com/>



JAきたそらち

▶ 興味がある・体験する

▶ 研修する

▶ 独立就農を目指す

▶ 法人就農を目指す

▶ 行政支援

▶ サポート体制



農業はそんなに簡単じゃない。
でも中には
喜びと成長が待っています。
あなたの就農は
新たな未来への一歩です。
きたそらちの仲間と共に
夢を実現しませんか。

KITASORACHI
Hokkaido

Dare To Dream

きたそらちで、農業をはじめ



就農の仲間会

■発行/きたそらち農業協同組合 〒074-0015 北海道深川市深川町字ムム10号線山3線5850番地 TEL 0164 (22) 6600 FAX 0164 (22) 8611
<http://www.ja-kitasorachi.com> ■編集/農業振興部 営農企画課 ■印刷/株式会社 須田製版